

# 救急科後期研修プログラム

## I. 到達目標

- (1) 救急専門医としての技量を身につける。専門医取得をめざす。
- (2) 救命救急を中心に、救急診療における基本的な診療技術と診療態度を習得する。
- (3) 災害医療に関する診療知識、技術を習得する。災害現場に赴いての診療を経験する。
- (4) メディカルコントロールを学び、ICLS、JATEC、DMAT などに参加し、広い視野で救命救急医療を担える経験を積む。
- (5) 救急医療、災害医療に関する学術活動に積極的に参加する。

## II. 研修内容

研修期間は、原則として 3 年。1 年間の後期研修を救急科に在籍後（一年間在籍は救急専門医資格取得のための最低条件）、院内各科後期研修医への移籍も可。

救命救急センターでの研修が中心。救急病棟の患者管理、ICU での患者管理も行う。希望により救急関連各科への短期ローテーション、院外高度救命救急センターへの国内留学も可。

研修終了後の進路については、希望により当院救命救急センター常勤医、当院他科専攻医なども可。

## III. 概要

診療体制：正職員 8 名（兼任を含む）＋ 専攻医、初期研修医

病床：救急病棟 20 床

平成 28 年度	20,570 名	救急外来患者数
	8,723 件	救急車搬入台数
	4,710 名	入院者数

## IV. 指導医リスト

研修責任者：救急科部長 西村 英祥

研修指導医：救急科部副部長 渡瀬 淳一郎

救急科部医師 山田 圭吾